

令和5年6月5日14時00分  
近畿地方整備局

(同時発表: 阪神国際港湾(株)、神戸市港湾局、大阪港湾局)

## 阪神港で初の2ターミナル同時COMPAS試験運用(神戸港PC-18・大阪港DICT)を今夏実施 ～6月5日より試験運用参加者の募集を開始します～

阪神港におけるCOMPAS<sup>※</sup>試験運用については、これまで神戸港PC-18で3回、大阪港DICTで4回実施してまいりました。

今般、神戸港PC-18及び大阪港DICTにおいて、輸入コンテナ(搬出・実入り)及び輸出コンテナ(搬入・実入り)を対象に、阪神港では初となる2ターミナル同時試験運用を実施します。

つきましては今回の試験運用への参加者を以下のとおり募集いたしますので、ご興味・ご関心がある事業者の方は是非ご参加ください。

※ COMPAS(Container Fast Passの略称)は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム

### <神戸港PC-18第4回・大阪港DICT第5回COMPAS試験運用>(詳細は「別紙」)

- 実施期間  
令和5年7月18日(火)～8月10日(木)(土日除く)
- 実施場所  
神戸港 PC-18 上組コンテナターミナル、大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT)
- 実施対象  
輸入コンテナ(搬出・実入り)及び輸出コンテナ(搬入・実入り)
- 参加事業者  
ターミナルオペレーター、海運貨物取扱業者、海上コンテナ輸送事業者

### <試験運用への参加申込みについて>

- 申請期間  
令和5年6月5日(月)～6月23日(金)
- 参加対象事業者  
海運貨物取扱業者、海上コンテナ輸送事業者
- 募集要領及び申請方法  
詳細については以下のリンク先よりご確認ください。  
URL : <[https://hanshinport.co.jp/wp/wp-content/uploads/20230605\\_COMPAS-trial.pdf](https://hanshinport.co.jp/wp/wp-content/uploads/20230605_COMPAS-trial.pdf)>

### <取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、  
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、港湾新聞社、神戸経済記者クラブ、  
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

### <問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 たにもと りゆうすけ 谷本 隆介

クルーズ振興・港湾物流企画室長 いわさき なおあき 岩崎 直晃

Tel: 078-391-3102(直通)



# 大阪港DICT第5回CONPAS試験運用の概要

別紙

実施時期	令和5年7月18日(火)～8月10日(木) (土日除く)		
実施場所	神戸港 PC-18 上組コンテナターミナル 大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT)		
参加事業者	ターミナルオペレーター、海運貨物取扱業者、海上コンテナ輸送事業者		
	<b>実施内容</b>	<b>輸入コンテナ (搬出・実入り)</b>	<b>輸出コンテナ (搬入・実入り)</b>
①	搬出予約(輸入)／搬入予約(輸出)	○	○
②	海運貨物取扱業者に加え海上コンテナ輸送事業者を起点としたCONPAS予約取得	○	-
③	CONPAS予約時に、予約情報をTOSへ送信	○	○
④	搬出可否情報の事前確認(輸入)／搬入情報の事前照合(輸出)	○	○
⑤	CONPAS車両が通行するレーンへの進入可否判定を携帯端末へ表示	○	○
⑥	車両接近時にコンテナ・車両情報をTOSへ送信	○	○
⑦	出入管理情報システムとの連携によるPSカードを活用した入場受付	○	○
⑧	CONPAS専用携帯端末による行先表示	○	-
⑨	車両位置情報およびゲート前渋滞情報の表示、ゲートアウトの自動判定	○	○
⑩	備車のCONPAS利用	○	○
	<b>予約時間枠</b>	<b>予約上限台数</b>	
		<b>輸入コンテナ車両 (搬出・実入り)</b>	<b>輸出コンテナ車両 (搬入・実入り)</b>
	8:30～9:00	30台	5台
	9:00～10:00	30台	5台
	10:00～11:00	30台	5台
	11:00～11:20	15台	5台
	13:00～13:30	30台	-
	13:30～14:30	30台	5台
	14:30～15:30	30台	5台
	15:30～16:30	30台	5台

# 阪神港におけるCONPASの取組

参考

- CONPASは、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発。令和3年4月より、横浜港南本牧コンテナターミナルにおいてCONPASの本格運用を開始。
- 阪神港では神戸港PC-18及び大阪港DICTにおいて、営業コンテナ(実入り)を対象とした試験運用を実施し、令和5年度中の本格運用を目指している。

## 阪神港におけるCONPASのイメージ (期待される効果※1)

※1 本格運用開始時(令和5年度中)以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む  
※2 阪神港CONPASの独自機能

